

# 笹川杯争奪第9回全九州少年少女空手道選手権大会 兼 第3回全日本少年少女空手道選抜大会 九州地区選考会

1. 大会名 笹川杯争奪 第9回全九州少年少女空手道選手権大会 兼  
第3回全日本少年少女空手道選抜大会 九州地区選考会
2. 主催 全日本空手道連盟九州地区協議会
3. 共催 (一社)福岡県空手道連盟・長崎県空手道連盟・(一社)熊本県空手道連盟・  
大分県空手道連盟・(一社)宮崎県空手道連盟・(一社)鹿児島県空手道連盟・  
沖縄県空手道連盟
4. 後援 公益財団法人全日本空手道連盟 佐賀県 佐賀県教育委員会 佐賀県スポーツ協会  
佐賀新聞社 NHK佐賀 サガテレビ 西日本新聞 (予定)
5. 主管 一般社団法人 佐賀県空手道連盟
6. 場所 唐津市文化体育館 佐賀県唐津市和多田大土井 1-1
7. 日時 令和5年11月4日(土)～5日(日)

4日【1日目】	5日【2日目】
選手受付 12:00～	選手受付 8:00
審判会議 13:00～	競技開始 10:00 個人組手(予選)
監督会議 13:30～	個人形(決勝)
開会式 14:00～	団体形(決勝)
引続き競技開始 個人形 団体形(予選)	個人組手(準決勝 決勝)

8. 種目 小学1～6年生の男子・女子の個人形及び個人組手競技  
小学4～6年生の男子・女子団体形
9. 参加人数 学年別、個人戦は男女別それぞれ4名、団体形は男女それぞれ1チーム(3人制)を各県代表選手とする。団体形はチーム登録人数を4名とし、その中から3名が試合に出場する。登録選手以外の変更は認めない。監督・コーチを含め次表のとおりに参加内訳とする。なお、同一選手の形、組手の両方の出場を認める。地元開催枠を各競技2名(団体形1チーム)ずつ追加する。ただし、地元枠選手の九州地区協議会議長杯ポイントは除外する。

※令和5年度、第23回全日本少年少女空手道選手権大会にて上位3位以内は、特別枠として出場を認める。

各 県	形 競 技					組 手 競 技		
選 手	男子	個人	小1～6	各4名	計24名(地元枠2名)	小1～6	各4名	計24名(地元枠2名)
		団体	小4～6	各1チーム	計9チーム(地元枠1チーム)			
	女子	個人	小1～6	各4名	計24名(地元枠2名)	小1～6	各4名	計24名(地元枠2名)
		団体	小4～6	各1チーム	計9チーム(地元枠1チーム)			
監 督	1名							
コ ー チ	6名以内							
総人数	103名・16チーム(地元枠48名・2チーム) + 特別枠							

## 10. 競技規定

- 1) 競技は、令和4年度 公益財団法人全日本空手道連盟〈空手競技規定〉により行う。
- 2) 形競技 個人戦
  - (ア) 全競技得点方式で行う。第1ラウンドから第3ラウンドまでは2名同時に行う。
  - (イ) 第1ラウンドは、基本形とする。
  - (ウ) 第2ラウンドは、第1ラウンドで使用していない基本形、もしくは第1指定形とする。
  - (エ) 第3ラウンドは、第1指定形、第2指定形、基本形から選択し、第1ラウンド、第2ラウンドで使用した形を繰り返してもよい。
  - (オ) メダルマッチは、第1指定形、第2指定形、基本形から選択し、第1ラウンド、第2ラウンドで使用した形を繰り返してもよい。
  - (カ) コートへの入場は、決勝戦を除き時間短縮のため直接形開始位置へ進み演武する。
- 3) 形競技 団体戦
  - (ア) 得点方式を採用する。
  - (イ) 予選は、基本形の中から選択すること。
  - (ウ) 決勝は、全空連第一指定形、第二指定形、基本形から選択し、予選で使用した形を繰り返し演武してもよい。
- 4) 組手競技 個人戦
  - (ア) トーナメント方式で行い3位決定戦は行わない。
  - (イ) 決勝戦は各コートにおいて競技する。
  - (ウ) 競技時間は1分30秒フルタイムとする。
  - (エ) 勝負は、競技時間内に6ポイント差が生じた場合、あるいは反則・棄権・失格、又は競技終了時に得点の多い選手を勝ちとする。競技時間終了時に先取点が無い場合は、「判定」をとって勝敗を決する。
  - (オ) 12歳以下(カデットルール)を適用する。
- 5) 組手安全具
  - (ア) 組手全種目に拳サポーター(全空連検定小学生用赤・青リバーシブル拳サポーター)、全空連検定メンホー及びボディプロテクター、全空連検定小学生用インステップガード及びシンガードを着装すること。なお、これらの安全具は選手各自において用意すること。  
※新型コロナウイルス感染拡大防止対策によりメンホーにマウスシールド着用必須とする。  
マウスシールドはミズノ製を推奨する。
  - (イ) 小学3～6年生男子組手出場選手は、必ずフェールカップを着装すること。  
但し、1、2年生は所属の指導者(監督・コーチ)の判断に委ねる。
  - (ウ) 安全具着装のない選手は出場できないので、充分注意すること。
- 6) 服 装
  - (ア) 監督・コーチは半袖・ネクタイ着用し必ず靴を履くこと。  
**※審判との区別を明確にするため審判と異なるネクタイを着用すること。**  
監督・コーチ用IDカードを着用すること。
  - (イ) 選手は、競技規定にそった清潔な白の空手衣を着用すること。なお、左胸に県名を入れること。  
※ 背中の道着メーカータグ、前年まで出場した全国少年少女大会のエンブレムその他これらに類するものは全て外すこと。(道着その他の点検については召集時に行う)
  - (ウ) 金属類のヘアバンド、ヘアピン等の使用は一切認めない。
  - (エ) 青帯・赤帯は各自全空連で検定された帯を用意し着用すること。主催者では用意しない。

## 11. 表 彰

### 1) 九州地区協議会議長賞の授与

総合得点の最上位の県に対し、九地協議長賞及び賞状を授与する。得点及び順位決定は次による。

(ア) 国体方式に基づき、各種目の入賞者に次の得点を付与する。

・1位 8点 ・2位 7点 ・3位 5点(2名) ・5位 2.5点(4名)

(イ) 総合得点と同点の場合は、優勝者数の多い県に授与する。

(ウ) さらに同数の場合は全てを同点優勝とする。

### 2) 組手、形ベスト8進出選手を次のとおり表彰する。

優勝1名・準優勝1名・第3位2名・第5位4名 **※対象となる選手は必ず表彰式に参加すること。**

## 12. 審判員

大会審判団は公益財団法人全日本空手道連盟公認審判員をもって次により編成する。

各県は公認地区組手審判員以上の**審判員6名を派遣**する事。

## 13. 新型コロナウイルス感染予防対策

### 1) 開催時期の予防対策事項で対応することにします。

## 14. 安全対策

出場選手が競技中負傷した場合は、主催者において応急処置をするが、その後は個人の責任において、処理すること。また、出場選手は健康保険証を持参し、スポーツ安全保険に加入していること。

## 15. 出場資格

1) 出場選手、監督及びコーチは、公益財団法人全日本空手道連盟会員であること。

2) 出場選手は公益財団法人全日本空手道連盟公認段・級位取得者であること。

3) 出場選手は、各県空手道連盟が選出した代表選手であること。

4) 監督及びコーチは、公益財団法人日本スポーツ協会公認空手道コーチ1以上、又は地区公認審判員以上の資格を有する者であること。

## 16. 出場申込

1) 出場費                      ① 個人戦(組手・形)    1種目 1人            3,000円

                                    ② 団体戦(形)            1種目 1チーム      6,000円

2) 別途定める出場申込を提出すること。

3) 申込書の送付及び出場費送金先(口座)は次のとおり

### 【参加費振込先】

ゆうちょ銀行    総合口座

記号: 17740      番号: 20487771

名義: 一般社団法人佐賀県空手道連盟

ゆうちょ銀行以外からの振込み

ゆうちょ銀行 店名七七八(読み ナナナナハチ)

店名: 778 貯金種目 番号: 2048777

名義: シャ) サガケンカラテドウレンメイ

※参加費は各県取りまとめ、振込名を「(県名) キュウシュウショウ」で振り込むこと。

## 17. 申込期限

**令和5年9月1日(金) 必着 【期日厳守】**

18. 宿泊等

1) 宿泊・交通費は自己負担とする。

2) 宿泊・弁当は主催者の指定する下記旅行会社を通して予約すること。

コロナウィルス感染時における対応のため宿泊される方は必ず利用をお願いいたします。

別紙【宿泊・弁当申込書】に必要事項を記載のうえ直接、名鉄観光サービス（株）にお申し込み下さい。

【申し込み・問合せ先】

名鉄観光サービス（株）で手配して頂きます

19. その他

1) ゼッケンは主管県で作成し、10月中旬ごろまでに各県連宛てに送付するので、各県連において査収のうえ、出場選手に配布のこと。なお、種目、男女別のゼッケン色分けは次のとおり。

	男子	女子
形（個人）	緑	青
形（団体）	黄緑	オレンジ
組手（個人）	黒	赤

2) 出場申込書提出後の選手変更は認められない。（監督・コーチの変更も不可）

3) 感染症予防対策のため、練習会場の利用は制限する。（後日案内）

4) 参加チームは、必ず引率者を指名配置し、出場選手の掌握、荷物の管理等に当たらせ円滑な大会運営、事故防止に協力すること。

5) 大会会場にはバスなどの大型車駐車場はありません。要相談となります。また、選手保護者の乗用車は会場の有料駐車場または、近隣の有料駐車場の利用となります。